

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5 休館日	6 	7 	8 	9
10	11 休館日	12	13 	14	15 休館日	16
17	18 休館日	19	20 	21 	22 	23
24	25 休館日	26	27 	28	29	30

【開館】平日・土曜日 9：30～19：00 【住所】名古屋市天白区横町701
日曜日・祝日 9：30～17：00 ☎：052-803-4188
【休館】月曜日・毎月第3金曜日 Fax：052-803-4190

赤ちゃんからのおはなし会(乳幼児向け)
①10:30～10:50 ②11:10～11:30

おはなし会(幼児・低学年向け)
15:30～16:00

おはなしとてづくりの会(幼児・低学年向け)
15:30～16:00 【定員】15組

ドーナツツ♪(0～3歳ちゃんの親子のための会)
10:30～11:15

東海学園大学の先生によるおはなし会
①10:30～10:50 ②11:10～11:30

天白図書館寄席
13:30～15:30

「暮らしと健康」特別講演会
「お酒と健康な暮らし」 13:30～

一般

「宝石の神秘」

10月12日(土)～11月14日(金)

11月11日に日本で宝石の単位「カラット」が正式に制定され、「ジュエリーデー」となりました。それにちなみ、宝石にまつわる本を集めました。この機会に、宝石の奥深さや魅力に触れてみませんか？

『大人のジュエリールールとコーディネート あなたがもっと輝くための宝石のグッドスタイリング』
ジュエリーコーディネーター研究会／監修
誠文堂新光社
【分類】755



テーマ展示

児童

「秋をたのしもう！」

11月1日(火)～11月14日(木)

からだを動かすスポーツの秋、絵や音楽を楽しむ芸術の秋、食べたり飲んだり作ったりする食欲の秋。本からヒントをもらって秋を楽しみませんか？

『ぐりとぐらのてづくりブック』
福音館書店編集部／編著
福音館書店
【分類】料理



ティーンズ

「〇〇の秋」

9月21日(土)～11月14日(木)

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋…あなたにとって秋といえばなんでしょう？今回は「〇〇の秋」にちなんだ本を集めました！ぜひあなただけの秋を見つけてみてください！

『読書嫌いのための図書室案内』
青谷 真未／著
早川書房
【分類】小説



ミニ展示

「心を知ろう！心理学」

知識をちょい足しコーナー

9月21日(土)～11月14日(木)

心の動きや行動を研究する心理学。心を知るきっかけにいかがでしょうか。中京大学 大塚由美子先生のご協力による展示物などもあります。

『視覚世界の謎に迫る 脳と視覚の実験心理学』
山口 真美／著
講談社
【分類】141



大塚先生
推薦！



11/9
(土)



第4回 天白図書館寄席

▶13:30~15:30

場 所 天白図書館 第一集会室
対 象 どなたでも
定 員 30名 **事前予約制**
申 込 電話または窓口にて受付中



図書館は知識と情報の宝庫〜
古くから寄席はその役目も果たしてきた

第4回 天白図書館寄席

◆ 令和6年11月9日(土) 開演 13:30
(開場 13:15 終演予定 15:30)
◆ 名古屋市天白図書館 集会室

◆ 定員 30名
◆ 入場無料

珍芸 落語 落語 落語
ていねいおとしん 多田大輔 落語家 齋藤 留屋 龍 目録 齋藤 龍 太

◎ 今回の仕掛人〜♪

11/7
(木)



東海学園大学保育専攻の先生によるおはなし会

▶ 第一部10:30~10:50 第二部11:10~11:30

日 程 11月7日(木)
場 所 天白図書館 おはなしの部屋
対 象 6カ月~3歳児(未就園児)と保護者
定 員 各10組 **事前予約制**
申 込 電話または窓口にて受付中

講 師 東海学園大学 教育学部 保育専攻准教授 木本有香
地域子育て支援Club “にこにこスマイル”

内 容 大型絵本や紙芝居手遊び・歌遊び
パネルシアターピアノやウクレレなど楽器演奏も♪
※内容は変更になる場合があります。



保育士や幼稚園教諭を目指す大学生の
お兄さんお姉さんも来るよ♪

天白区障害者自立支援連絡協議会

シネマでみる・ふくし ~てんぱく2024~

▶13:00~16:30 (開場12時)

上映作品 こえ かたち 映画「聲の形」
会 場 天白文化小劇場
対 象 どなたでも 【主催】天白図書館ほか
定 員 250名 **先着順** 入場無料、申込不要
問合せ 天白区役所福祉課 ☎052-807-3883



障がいのある方への理解を深めていただくための映画の上映会です。「週刊少年マガジン」に連載され、数々の賞に輝いた、大今良時の漫画「聲の形」を上映。会場では12時から手作りお菓子や小物など自主製品を販売します。オープニングは区内の障がいのある方たちが歌やダンスを披露します。

12/6
(金)

令和6年度 子どもと本の講座 親子でたのしむわらべうた

時 間 ①10:00~10:30(0~1歳前後のお子様と保護者)
②11:00~11:30(1~3歳のお子様と保護者)
場 所 天白図書館おはなしの部屋
講 師 北川美知子さん(おはなしボランティア)
定 員 各6組 (申込先着順)
申 込 電話または窓口にて
受付開始 11月19日(火)9:30~



親子でゆったり過ごしながらわらべうたを楽しんでみませんか？対象年齢に合わせたわらべうたをたっぷりご紹介します。
ぜひお気軽にご参加ください。

島田地蔵寺 和尚さんの本紹介

6月の認知症カフェで講演いただいた島田地蔵寺のご住職が、今年8月に新しい本を出版されました。2015年に出版された第一巻とともに図書館に寄贈してくださいました。貸出も可能です。ぜひお手にとってご覧ください。



『一服啓上1・2巻 ゆっくりりや〜せ』

神野哲州／著
駿栄社
【分類】184(天白区資料)
参考室 天白区地域資料

New

夢文庫ピコット紹介本コーナー

11月から、「夢文庫ピコット紹介本」コーナーを新設しました。原駅にある 子どもの本と木のおもちゃ専門店「夢文庫ピコット」さんにご協力いただき、おすすめの絵本を展示しています。

児童コーナーの赤ちゃんえほん・ちしきのほんの一角にあります。展示している本以外のおすすめ絵本のブックリストも置いてあります。ぜひのぞいてみてください。



隔月連載!

『絵本とわたしとこどもたち』②

Kodomiru文庫 イシマル

こんにちは 塩釜神社近くで家庭文庫をしているkodomiru文庫のイシマルです。前回の『かしこいビル』はいかがでしたでしょうか。

今回は『ひとまねこざる』

しりたがりやのおさるのじょーじのお話は日本では1956年に出版されてから、68年も愛され続けています。

とある場所でのこと、小1のA君に読んでいると、わらわらと周りに子どもが増えていき、思いおもいにじょーじのことを、まるで友達のことのように話しはじめました。読み終えた途端、途中から聞いていた子たちから「はじめから読んで」とリクエストがかかります。我が子が幼い時も『ひとまねこざる』の「おしまい」には必ず「もっかい」と言われ、何回読んでも、もう一回とせがまれたものです。

本書では、動物園にいたじょーじが、アフリカから自分を連れてきた“きいろいぼうしのおじさん”を探しにこうと町にでるのですが、先々で騒動を起こしてしまいます。あんなことやこんなこと、それはもうたっぷりと…! 子どもはこのハラハラドキドキも大好き。おさるのじょーじのなんにでも興味をもってしりたがるところは子どもそのもの。そのせいでハプニングも続き、もちろん反省もしますが懲りません(笑)でもよく読んでください。困っても、誰も本気でじょーじを怒ったりしません(ここ大事)。それはなぜかって?“じょーじ”(子ども)は愛する存在で、しりたがるのが“子ども”(じょーじ)だから、しょうがないのです(笑)。



『ひとまねこざる』
H.Aレイ/文・絵
岩波書店

一般



『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ／著
中央公論新社
【分類】小説

耳には聞こえない声。周りの大事な人たちの心の声。人と人とのつながりを考えてみたくなる一冊です。不思議なタイトル“52ヘルツのくじら”とは？ページをめくって確かめて下さい。

一般



『京都東山邸の小鳥遊先生』

望月 麻衣／著
ポプラ社
【分類】小説

京都東山にある洋館「東山邸」に住む小鳥遊姉妹。人気脚本家の葉月が駆け出し俳優と出会い、“推し”ながら共に成長していく物語です。

ティーンズ



『本を守ろうとする猫の話』

夏川 草介／著
小学館
【分類】小説

高校生の夏木林太郎は、ある日言葉をしゃべる猫のトラと出会い、「閉じ込められた本を助け出すため力を貸してほしい」と頼まれる。本を読むことについて考えさせられる一冊です。



おはなし会



『でてくるでてくる』

岩田 明子／作・絵
ひかりのくに
【分類】絵本

まよなかの公園の中。砂場からゾウがざざざ～！ブランコからはタコがにゅる～ん！遊具の中からどうぶつが次々とあらわれる不思議で楽しい一冊です。

児童



『テスの木』

ジェス・M・ブローヤー／作
主婦の友社
【分類】絵本

小さな女の子テスには仲良しの木があります。あるあらしのばんに木は倒れてしまいました。木が倒されてテスはおこりますが、ちゃんとおわかれをしようと思いました。大切なものとのおわかれはテスの心を前向きにします。

いつも天白図書館をご利用いただきありがとうございます。

11月18日で天白図書館は**47**歳になりました。

統計を見ると、当時の天白区の人口は現在のほぼ半分でした。

約半世紀で倍増とは大変な勢いです。

2027年の天白図書館50周年に向けて、よりみなさまにご利用いただける図書館になるよう努めてまいります。これからもよろしくお願いいたします。



スマホをかざすと
天白図書館テーマ
ソングが聞けます。



TEMPAKULIBRARY

天白図書館
Instagram